



第5回 子育て・子育てまちづくりセミナー

障害児おでかけ最前線 障害をもつ子の外出・移動を考える

主催：日本福祉のまちづくり学会子育て・子育てまちづくり特別研究委員会

日本福祉のまちづくり学会子育て・子育てまちづくり特別研究委員会では、福祉のまちづくりを子どもや子育ての観点から研究しています。今年の子育て・子育てまちづくりセミナーでは、障害をもつ子どもとまちづくりについて考えます。昨今の子育てバリアフリー（子連れの外出・移動を楽しもう）という流れの中でも、障害をもつ子やその家族などのニーズにはなかなか焦点があたりません。そこで、第五回セミナーでは、主として身体に障害をもつ子どもの外出や移動に焦点をあてて、リハビリ工学の研究・実践の立場から、また移動用具を提供する事業者の立場からお話をいただきます。併せて実際に車いす、補装具、移動補助具などの展示と解説も行います。障害をもつ子どもたちの外出・移動の最新状況について一緒に考えていきましょう。

☆講演1 『移動用具を必要とする障害児への工学的アプローチ —重度障害児に必要なもの—』

沖川悦三さん(神奈川県総合リハビリテーションセンターリハ工学研究室主任研究員)

講師プロフィール：1983年3月神奈川県総合リハビリテーションセンター研究部に就職
リハ工学研究室にて車いすと車いす用移動機械の研究開発、重度障害者の座位保持装置の研究
開発、チェアスキーなどレジャー・スポーツ用機器の研究開発及び入院入所、外来患者さんへの
リハエンジニアリングサービスを行いながら現在に至る。

☆講演2 『子どもの車いす、補助具～子ども固有のニーズに着目して』

杉本昌子さん(パシフィックサプライ(株) 事業開発本部テクニカルエイド事業部
成長支援事業グループ課長)

講師プロフィール：川村義肢(株)に入社して11年、その後パシフィックサプライ(株)に
転籍して5年。主に車椅子・姿勢保持製品の商品担当として、全国のお客さまに快適な移動手
段の提供を行っています。

☆子ども用の車いす、補装具・移動補助具等の展示と解説

☆全体でのディスカッション

■日 時：2014年3月27日(木) 13時～16時 (12時30分受付開始)

■会 場：日本大学理工学部駿河台校舎 1号館4階141教室
(JR 御茶ノ水駅、地下鉄丸ノ内線、千代田線新御茶ノ水駅から徒歩5分)

■参加費：無料

□保 育：小学三年生までの保育あり。(3月20日までにお申し込みください)

□情報保障：3月10日までにお問い合わせください。

■お申込み先：子育て・子育てまちづくり特別研究委員会事務局

e-mail: kosomachi@gmail.com まで

お名前・ご所属をお書き添えいただき、前日までお申し込みください。

保育をご希望の方はお子さんのお名前・学年/年齢をお書き添えください。

